

専門部会の会議の場以外での委員発言

発言者	発言内容
佐藤委員	<p>○ オンライン教育の推進について</p> <p>「オンライン教育を提言の前面に」という案に賛同。特にコロナ下で難しいと判断されている交流活動について、オンラインでの代替を工夫すべきである。</p> <p>塾で取り入れたオンライン授業は生徒には好評。通常の個別授業に加え、オンラインの集団授業を開始した。回を重ねる毎に直接会ったことがなくても生徒同士が仲良くなっており、オンラインでの交流に可能性を感じている。</p> <p>例：イングリッシュキャンプ、キャリア教育、生涯学習講座、教員研修</p>
佐藤委員	<p>○ オンライン教育の導入にかかる教員支援体制について</p> <p>オンライン教育の導入には、大きな負担感を感じる職員がいることが予想される。各校へサポートスタッフを配置するほか、教員研修をしっかりと実施する必要があると考える。</p>
佐藤委員	<p>○ 国際交流の継続と発展について</p> <p>国際交流には、グローバル人材の育成のほか、多様性や異文化の理解による人間性の育成、母国文化の見直しによる郷土愛の醸成などの多面的効果が期待される。一部の国や地域に偏ることなく、多様な国際交流を進めていただきたい。</p>
佐藤委員	<p>○ 英語能力の判定について</p> <p>英語能力判定を、英検資格試験の受験から英検 I B A に変更したことで、それに挑む子どもの意欲が減少したように感じる（塾での様子も踏まえて）。以前のような資格試験の悉皆助成の方がよいのではないか。</p> <p>なお、民間試験として英検で良いのかは検討の余地があると考ええる。</p>
豊田委員	<p>○ 教職員のサポート体制について</p> <p>佐藤委員の意見に賛同する。</p> <p>特にオンライン教育の導入を加速するためには、教員にどのようなサポートが必要なのかを具体的に考えるべきである。</p>

※発言の状況

佐藤委員 4 件：第 2 回専門部会会議録校正時に追加で発言

豊田委員 1 件：佐藤委員追加発言の共有に対する返信